

足利赤十字病院心臓血管病センターを受診された患者様へ

当院では下記のような臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある患者様で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	下肢閉塞性動脈硬化症に対する末梢血管カテーテル治療施行患者における高出血リスク症例の頻度とその意義に関する後ろ向き観察研究
研究責任者	沼澤洋平（心臓血管病センター部長）
他の研究機関および各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	下肢閉塞性動脈硬化症に対する末梢血管カテーテル治療施行患者について、高出血リスク基準（ARC-HBR Criteria: Urban et al. Circulation 2019;140:240-261）を満たす症例がどの程度の割合で存在するかについて調査し、また ARC-HBR Criteria を満たす症例と満たさない症例で、治療後の臨床転帰に関するリスクの違いを明らかにすることを本研究の目的とする。
調査データ該当期間	2011年7月から2020年9月までの診療情報を調査対象とする
研究の方法	<p>★対象となる患者様</p> <p>2011年7月1日から2020年9月30日に当院心臓血管病センターに入院し、下肢閉塞性動脈硬化症に対して末梢血管カテーテル治療を施行した患者様が対象となります。</p> <p>★利用する情報</p> <p>各患者様の年齢、性別、身長、体重、高血圧、脂質異常症、糖尿病の有無等の患者背景、カテーテル治療手技内容、さらに治療後1年以内の死亡、輸血や再入院を必要とした出血性合併症、下肢切断の有無等の臨床転帰を調査し、データベースとしてまとめます。これらのデータを出血リスクが高い症例と高くない症例で比較検討し、リスクの違いについて統計学的に調査します。</p>
情報の他の研究機関への提供	なし

個人情報の取り扱い	利用する情報から患者様個人を直接特定できるような個人情報は削除いたします。また研究成果は医学的に意義のあるものと判断された場合、学会等での発表や研究論文として発表させていただく予定ですが、その際にも患者様個人を特定できない形式とさせていただきます。
本研究の資金、利益相反	ありません
お問い合わせ先	電話 0284-21-0121 (代表)、担当者：心臓血管病センター 沼澤洋平